

PET-CT検査のご案内（患者さん用）

●PET-CT検査について

PET-CT検査は、ブドウ糖代謝の指標となる ^{18}F -FDGという放射性医薬品を用いて体内の糖代謝の状態をみることでがん等の疾患を診断する検査です。

検査の被ばくは年間被曝線量とほぼ同等で放射線の量は約2時間ごとに半減し尿として速やかに排泄されます。翌日にはほとんど体内に残りません。この被ばく線量にX線CT撮影の被ばくが線量を加わりますが放射線障害の心配はありません。

※ただし、妊娠している方、小児の検査についてはご相談ください。

●PET-CT検査の注意事項

- ・ 検査前6時間は絶食です。糖分の含まれている飲料、あめやガムなどもご遠慮ください。糖分の含まれている点滴も中止してください。水についての制限はありません。
- ・ 糖尿病の薬は病気を見えにくくします。当日の朝から検査が終わるまでインスリン注射もしくは内服薬の服用はしないでください。

※血糖値が非常に高い場合は検査ができないことがあります。

- ・ 検査前日と当日の運動や肉体労働は控えてください。また、前日の飲酒も控えてください。
- ・ 検査終了当日は、妊産婦や乳幼児との接触はなるべく控えてください。

●PET-CT検査の流れ

- ・ 薬剤を注射します。※血糖値の測定も行います。
- ・ 薬剤が体内に行きわたるまで約1時間安静にしています。
- ・ トイレで排尿した後、約30分全身のスキャンをします。
- ・ 体内の薬剤が減少するまで約30分休憩します。

検査は注射をしてから検査終了まで約2時間かかります。

●PET-CT検査のキャンセルについて

キャンセルもしくは日時を変更される場合は検査前日の12時までにご連絡ください。

※ただし、月曜日に検査をされるかたは土曜日の12時までにご連絡ください。検査前日が祝日の場合は休日前になります。

検査薬剤FDGは高額な薬剤で使用期限のとても短い薬剤です。急なキャンセルや時間に遅れることがあると使用することができません。当日は時間に余裕をもってお越しください。

●その他

- ・ 保険適応は、早期胃がんを除く悪性腫瘍、虚血性心疾患、難治性てんかんです。保険適応の場合、自己負担額は約3万円(3割負担の場合)です。その適応は、厳しい条件が設定されています。保険適応外や検診の場合は自費診療となります。
- ・ 当センターはテレビカメラやインターフォンを使用して皆様方をご案内しています。この際、画像を録画したり、プライバシーを侵害したりすることはありません。
- ・ PET薬剤は毎日、製薬会社より陸送で供給を受けます。道路状況や天候の変化などで到着しなかった場合、万一の機器トラブルなどの際には中止せざるを得ない場合がありますのでご了承ください。